

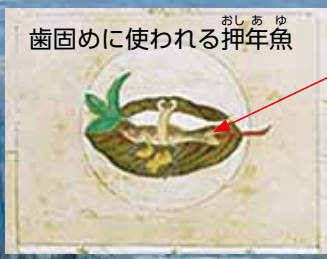
ふちゅう歴史散歩 Vol.127

備後国の調と食料品

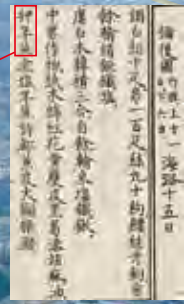
調とは、律令国家の基本的税目の一つで、国家の主要財源となるものです。『延喜式』には調のリストがあり、備後国からは白絹・帛・糸のほか、鉾産物、染料、油脂、食料品などが送られています【図】。多様な品物の貢納は、中国王朝では見られず、日本の特徴ですが、それはなぜでしょうか。

それを解く鍵は、調の和訓「ツギモノ」にあります。「ツギ」とは「ミツギモノ」のことで、中央への服属の証として、各地の特産物を送るという意味があります。食料品の貢納も、単なる食材の送付ではなく、支配者が献上された食物を食べることで支配・被支配関係を確認していたと考えられます。列島支配を表現する「食す国の政」という言葉は、これに由来するのでしょうか。

古代備後の有力者が中央と関係を取り結ぶ際に送った品物の意味について、秋の夜長に考えてみてはいかがでしょうか。



参考図 類聚雑要抄



図「延喜式」

図 国文学研究資料館所蔵資料を改変して使用。CC BY-SA
(<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/deed.ja>)
参考図 ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>) より

府中市教育委員会では、11月27日(土)、ふちゅう歴史フォーラム「古代の食とその再現」を開催します。会場での人数制限はありますが、オンライン参加も可能です。ぜひご参加ください。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

「ありがとう 大運動会」 高校生編 その84



投稿者(文と写真)

府中高校3年
岩崎 颯太くん

僕はコロナ禍で縮小された学校行事しか見てきていない1、2年生に少しでも府中高校の伝統と魅力を伝え、盛り上げるために紅団の応援団長になりました。しかし、他の団と比べると有志の数も少なく、経験者がいない状態からのスタートだったので、最初の頃は応援団のことを考えると憂鬱な気持ちになっていました。そんな困難な状況の中ではありませんでしたが、紅団の団員はとても明るく、熱心に練習に取り組んでくれました。一生懸命なみんなの姿を見ているうちに、不利な状況に不安になることよりも、人数が少ない中どうやって迫力を出せばいいのか、自分たちが今できる工夫を考えることが増えていきました。本番当日は緊張感が僕たちを襲いましたが、ビクビクして失敗するくらいなら大胆に失敗し

ようと言って本番に臨みました。その結果、応援は大成功で、四方から送られる惜しみない拍手に僕たちの今までの苦労は無駄ではなかったのだと思い、達成感と高揚感でいっぱいになりました。

今回、どんなに周りの環境が厳しくても、結局一番大切なのは自分たちがどれだけその環境の中で上を向いてもがいていけるかだと思いました。コロナ禍で憂鬱になることもありますが、まずは自分がしっかりと上を向いて、心を強く持って、充実した日々を送れるように努力していこうと思います。



府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

放送日	放送内容
11月1日(月)	府中市まちなかマラソン開催
11月8日(月)	府中八幡もみじの森 第2回紅葉まつり開催
11月15日(月)	子どもの作品「第一中学校」
11月29日(月)	子どもの作品「栗生小学校」



公式SNS
LINE



公式SNS
facebook



スマホアプリ
radio(ラジオ)

府中市メール配信
サービス

